

2019 年 5 月 23 日

波動制御技術をコアにした技術シーズの社会実装を目指す ピクシーダストテクノロジーズ株式会社への出資について

- ・ 波動制御技術等のアカデミア発の技術を事業化して、社会課題の解決を目指す
- ・ 筑波大学デジタルネイチャー推進戦略研究基盤における様々な技術シーズを導入
- ・ 大企業とのオープンイノベーションにより新しいサービス・市場の創出を図る

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、ピクシーダストテクノロジーズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 落合陽一、以下「PDT」）に対して、同社の事業展開を加速させるための成長資金として、20 億円を上限とする出資を行うことを決定し、19 億円の出資を実行しました。また、INCJ に加えて、事業会社やベンチャーキャピタルなどが共同投資家*として同社に出資を行いました。今回 PDT が調達した資金は、同社における製品開発などに供される予定です。

PDT は、筑波大学准教授の落合陽一氏によって 2017 年に設立されたベンチャー企業です。同社は、大学で研究された技術シーズを、事業会社との連携を通じて社会実装することを目的としており、少子・高齢化による労働人口の減少や障害者の暮らしをより豊かにするといった社会課題の解決を目指しています。同社は、筑波大学のデジタルネイチャー推進戦略研究基盤と連携し、同研究基盤における様々な有望シーズを事業化検討できる取り決めを交わしています。また、同研究基盤との共同研究成果に基づく知財の譲渡に対しては、PDT が筑波大学に新株予約権を付与するなど、これまでにない産学連携スキームのもとで事業を推進しています。

PDT は、複数の技術ポートフォリオの中でも、特に超音波やレーザーで使用される波動制御技術の実用化において高い専門性を有しており、視覚・聴覚・触覚領域の製品開発に取り組んでいます。多数の振動子から発する超音波等の焦点を自由に操作できる波動制御技術は、これまでその原理は知られていたものの、実用化するには多くの課題がありました。PDT は、アカデミアでの研究成果をもとに波動制御におけるハードウェア・ソフトウェア両面の最適化を試み、これらの課題を克服してきました。

現在、PDT は、アカデミアシーズを活用した自社製品の開発に加えて、波動制御技術を社会実装するために医療業界や広告業界など多岐に亘る企業と共同開発を進めています。大学の研究シーズと社会が求める具体的なサービスには隔たりが存在する場合がありますが、PDT は顧客の課題解決を優先し、同社が有する技術や独自のノウハウと企業とのコラボレーションによって新たなサービスや市場の開拓を目指しています。このような取り組みを通じて、視聴触覚領域におけ

るナレッジを蓄積し、近い将来、当該領域におけるテクノロジー・プラットフォーム企業となることを目指しています。

また、同社は複数の大企業との協業経験を活かして、ベンチャー企業と大企業がより良いパートナーシップを築くための基盤づくりを推進するなど、日本のベンチャーエコシステム構築に向けた活動にも熱心に取り組んでいます。

INCJ は、PDT が新たな産学連携の仕組みのもとで、技術シーズの社会実装に向けたベンチャー企業と大企業とのオープンイノベーションを推進することにより、産業の枠を越えた新たな付加価値を生む商品やサービスの開発が可能になると考えています。同社の事業を通して日本が抱える高齢化や労働力不足などの社会課題の解決に寄与し、PDT がアカデミア発ベンチャー企業の新たなモデルケースになり得ると期待しています。INCJ は、出資に加えて、社外取締役の派遣や既存投資先とのポートフォリオシナジーの創出など、ハンズオン支援を行っていきます。

*共同投資家：SBI インベストメント株式会社が運営する SBI AI&Blockchain 投資事業有限責任組合、凸版印刷株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社が運営する SMBC ベンチャーキャピタル 4 号投資事業有限責任組合、NEC キャピタルソリューション株式会社と株式会社ベンチャーラボインベストメントが共同運営する価値共創ベンチャー 2 号有限責任事業組合、みずほキャピタル株式会社が運営するみずほ成長支援第 3 号投資事業有限責任組合、グローバル・ブレイン株式会社が運営する KDDI 新規事業育成 3 号投資事業有限責任組合、合同会社 K4 Ventures、第一生命保険株式会社、株式会社電通

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社について

設 立 ： 2017 年 5 月
本 社 ： 東京都千代田区
代表者 ： 代表取締役 CEO 落合 陽一、代表取締役 COO 村上泰一郎
事業内容： 波動制御技術をコアとする視聴触覚技術の社会実装プラットフォーム事業
URL ： <http://pixiedusttech.com/>

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。 URL：<http://www.incj.co.jp/>

以上

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階 電 話：03-5218-7202

【別紙】

新規支援決定案件の概要

1. 対象事業者

- ・ 事業者名： ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
- ・ 設立： 2017 年 5 月
- ・ 所在地： 東京都千代田区
- ・ 代表者： 代表取締役 CEO 落合 陽一、代表取締役 COO 村上泰一郎
- ・ 事業内容： 産学連携の基盤を活用した波動制御技術をコアとする視聴触覚技術の社会実装

2. 支援決定内容

- ・ 支援決定金額： 20 億円（上限）
- ・ 実投資額： 19 億円
- ・ 共同投資家： SBI インベストメント株式会社が運営する SBI AI&Blockchain 投資事業有限責任組合、凸版印刷株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社が運営する SMBC ベンチャーキャピタル 4 号投資事業有限責任組合、NEC キャピタルソリューション株式会社と株式会社ベンチャーラボインベストメントが共同運営する価値共創ベンチャー2 号有限責任事業組合、みずほキャピタル株式会社が運営するみずほ成長支援第 3 号投資事業有限責任組合、グローバル・ブレイン株式会社が運営する KDDI 新規事業育成 3 号投資事業有限責任組合、合同会社 K4 Ventures、第一生命保険株式会社、株式会社電通
- ・ 株式保有割合： 非公表
- ・ 投資ストラクチャー図： 別紙

3. 投資意義

<社会ニーズへの対応>

- ・ PDT は、波動制御技術などアカデミア発の技術シーズで企業との共同開発を進め、新たな付加価値を生む商品やサービスの開発を目指し、少子高齢化による人手不足や障害者の暮らしをより豊かにするといった社会課題の解決に貢献する。

<成長性>

- ・ 超音波やレーザーで使用する波動制御技術の実用化において高い専門性を有する。
- ・ 医療業界や広告業界など多岐に亘る業界とのオープンイノベーションを推進し、新サービスや新市場の創出が期待される。
- ・ 大企業との協業経験を活かして、ベンチャー企業と大企業がより良いパートナーシップを構築するための基盤づくりを推進しており、日本のベンチャーエコシステム構築にも貢献。

<革新性>

- ・ 特定の技術シーズに特化するのではなく、筑波大学・デジタルネイチャー推進戦略研究基盤との包括連携を通じて様々な技術シーズを事業化検討できるという、これまでのアカデミア発ベンチャー企業にはない仕組みで事業を推進。

- ・ 筑波大学が有する知財の譲渡に対して、PDT が新株予約権を同大学に付与することで大学側の研究助成に貢献するなど、新たな産学連携のモデルケースになり得る。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

株式会社 INCJ は、本件投資を通じ、投資先企業が産学連携の基盤を活用し、継続的な技術開発を行いつつ、国内事業者との連携強化を図ることにより、我が国産業への波及効果が高まるよう適切な支援に努められたい。

投資対象：ピクシーダストテクノロジーズ株式会社

事業内容：波動制御技術をコアとする視聴触覚技術の社会実装プラットフォーム事業

支援決定金額：20億円(上限)

支援決定公表日：2019年5月23日



- ・ 筑波大学をはじめとする産学連携を通じたアカデミア発シーズの社会実装に取り組み、社会課題の解決に寄与
- ・ 最先端の波動制御技術等を応用して大企業連携を実現、また同経験を生かしてR&Dベンチャーのプレゼンス向上活動に従事
- ・ 視聴触覚領域は日本が国際標準化を狙える稀有な事業領域